

# 会長挨拶

## 学校での動物飼育の基礎とふれあい授業の指導

宮下英雄



ただいまご紹介をいただきました，本研究会の会長をしております宮下英雄と申します．どうぞよろしくお願いいたします．

午前中はにわか雨が降り，このまま降り続いたらどうなるかと心配しておりましたが，きっと，学芸大学で飼育されている動物たちの行いが良くて，雨も上がり，皆様方をお迎えできたのではないかと思います．

本日は，全国学校飼育動物研究会が中心となりながら，今回のテーマであります「動物飼育の基礎とふれあい授業の指導」ということで，ワークショップを開催することとなりました．このワークショップの開催にあたりまして，この学芸大学附属小学校があります小金井市の教育委員会や，近隣の教育委員会の諸先生方にたいへんご尽力いただきましたこと，多く先生方にご参加いただきましたことを，まずもって深く感謝申し上げます．それから，今日の研修会の開催にあたりましては，近隣の獣医師の先生方にも御協力いただき，実際にふれあい授業の指導もお願いすることとなりました．ご指導いただく獣医師の先生方には，この研修会の時間に合わせてこちらにお出でいただく際に，休診をしたりして業務時間の変更をしていただきました．このことに関しても重ねて感謝申し上げます．

この場をお借りして，本研究会がなぜ発足したのかをお話しさせていただきます．平成16年のちょうどこの夏の時期に，本研究会が発足いたしました．その当時，日本全国が鳥インフルエンザの問題でたいへんな時期でありました．そのときに，学校の

飼育舎で飼育されている鳥たちも，鳥インフルエンザに感染しているのではないかと，短絡的な思考をもたれており，先生方や子どもたちも飼育舎に近寄らず，子どもたちがかわいがっていたニワトリたちが死んでいってしまいました．それでニワトリが死ぬと，やはり鳥インフルエンザに感染していたのだと思われ，それが風評被害的に広がっていってしまいました．これは鳥インフルエンザが原因ではなく，餓死した結果だったのです．このような状況が続いていたので，私たちはなんとかその状況を打破しなければならないと考え，130人の発足人で本研究会を立ち上げることになりました．

これまでも，動物たちを飼育することをとおして，子どもたちはたくさんのことを学んできました．そこで本研究会も，子どもたちの心や生きものの命について考え，教育に反映していこうということになりました．そして，そのような教育を受けた子どもたちは，昨今問題となっております虐待などをしてしまうような母親にはならないのではないかと考えます．そのような行為をしてしまう母親は，小さい頃に動物を飼育していれば，きっと虐待などはしない母親になっていたのではないかと思います．

本日は，このようなすばらしい会場をご提供いただくとともに，本研究会と共催という形をとっていただきました，（本日は副学長先生にもお越しいただいております．）東京学芸大学附属小学校の関係の先生方に深く感謝申し上げます．また，東京都教育委員会から指導課長様，副参事様にお越しいただいております．ありがとうございます．

本日は短い時間ではありますが，獣医師の先生方のご指導の下，動物と実際にふれ合っていただき，学校や園でどのように動物たちとふれ合わせていけばいいのか，そして，子どもたちをどのように育てていったらいいのか，みなさんと一緒に考えていきたいと思っております．

（本研究会会長／聖徳大学児童学部教授）